

令和 7 年 11 月 7 日

報道機関 各位

山陰研究交流会
「幕末大社のうた詠む夫婦—手銭有頼とさの子の文事」開催

◆本件のポイント

- ・山陰研究交流会では、毎月 1 テーマずつ、地域研究の成果をわかりやすくご紹介しています
- ・江戸時代後期の女性が学問や文芸に高い関心を持っていたことはよく知られていますが、そうした女性が三都(江戸、京都、大坂)だけでなく、出雲にも存在したことがわかりました
- ・和歌や雅文といった形式(型)の修得が、通常の記録には残りにくい感情や家族への思いを写し留めることに繋がっていました

◆本件の概要

2025 年度山陰研究交流会を開催します。毎月 1 テーマずつ、地域研究の成果をわかりやすくご紹介していきます。11 月は野本瑠美准教授(法文学部)が「幕末大社のうた詠む夫婦—手銭有頼とさの子の文事」をテーマに発表します。

江戸時代から続く出雲市大社町の旧家・手銭家には多くの文書、美術品、古典籍が残されています。本報告では、幕末を生きた手銭家七代当主の有頼と妻さの子の文芸資料に着目し、二人が残した書簡や雅文作品、和歌、狂歌をもとに、当時の文芸活動の様相や作品から垣間見られる夫婦の日常を紹介します。

◆概要内容

【日 時】2025 年 11 月 26 日(水) 16:00~17:30
【テ マ】幕末大社のうた詠む夫婦—手銭有頼とさの子の文事
【発 表 者】野本 瑠美(島根大学法文学部・准教授)
【開催方法】Zoom によるオンライン(要事前申込み)

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学 法文学部 山陰研究センター

電 話:0852-32-9833 / メール:admin-src[at]soc.shimane-u.ac.jp

案内 HP: <https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2025091700019/>



◇その他

取材につきましてはミーティング URL をご案内いたしますので連絡先にご連絡ください。
開催前日や対面での取材につきましても対応いたします。

【添付資料: あり(1 枚)】

2025年度 山陰研究交流会

山陰研究交流会では、現時点での研究成果を報告し、それをもとに議論を行うことで、プロジェクト間の研究交流を推進しています。同時に、分かりやすく焦点を絞った話をしていただくことで、専門分野外の人にも研究内容について理解を深めてもらうことを目的として、継続的に開催するものです。

参加無料です。どなたでも、お気軽にご参加ください。

オンライン
開催

【2025 年度開催スケジュール】

10/22

水曜日

江戸時代後期の石見国銀山附幕領における 銭遣い ―計算基準貨幣としての「通用銭」―

小林 准士 (島根大学法文学部)

2111 山陰研究共同プロジェクト「石見銀山附幕領における銀山・銅山・鉄山―非農業世界からみた「幕領社会論」の構築―

11/26

水曜日

幕末大社のうた詠む夫婦 ―手銭有頼とさの子の文事―

野本 瑠美 (島根大学法文学部)

2501 山陰研究プロジェクト「山陰の文学・歴史関係資料の基礎研究と公開方法の開発に関するプロジェクト」

12/24

水曜日

中国山地における地域資源循環の把握

大津 裕貴 氏 (にちなん中国山地林業アカデミー)

2402 山陰研究プロジェクト「持続可能な地域発展のためのボトムアップ型政策に関する研究」

※本会のみ開催時間が【17:15～18:30】となります。ご注意ください。

2026
1/28

水曜日

山陰のこれからの観光について

福井 栄二郎 (島根大学法文学部)

2301 山陰研究プロジェクト「アフターコロナの社会動態とその課題―いま、ここにしかない山陰地域の「観光」を考える」

開催時間

各回共通 16:00～17:30

12/24(水)のみ 17:15～18:30

参加方法

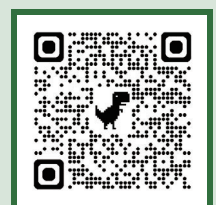
ホームページ掲載の申込み方法をお読みいただき、各開催日の前日までにお申込み下さい。

●山陰研究交流会 オンライン参加時の注意事項

<https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2020101900014/>

●2025 年度山陰研究交流会案内ページ

<https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2025091700019/>



<申込・お問い合わせ先>

島根大学法文学部山陰研究センター

☎ 0852-32-9833

✉ admin-src@soc.shimane-u.ac.jp